

令和3年度 事業報告書

I 総 括

本法人は平成24年の設立時より障害者総合支援法に基づいた就労継続支援事業、短期入所事業、宝塚市地域生活支援事業として日中一時支援事業を実施しています。また、公益事業として介護保険法による指定福祉用具の貸与、販売を就労活動として行い、数多くの利用者にサービスを提供することにより社会福祉に寄与しています。

令和3年度末には、3カ所で開催していた短期入所事業所のうち、ENJOYハウスの事業を廃止しました。法人設立から10年を経て、地域に必要なサービスや組織運営のあり方を今一度見直していく必要性が出ています。それに伴い、中長期計画の策定を行い、理事会などで進捗状況の確認などの議論を中心とした運営を行っていく必要性も高まっています。

必要なサービスの提供も行いながら、新しいサービスの検討も行っています。

II 経 営 成 績

事業活動計算書(法人全体)

区 分	令和3年度	令和2年度	増 減
事業活動収益	241,783,961 円	246,874,276 円	△ 5,090,315 円
サービス活動収益	239,055,553 円	243,439,867 円	△ 4,384,314 円
うち、就労支援事業収益	105,916,774 円	106,057,622 円	△ 140,848 円
うち、自立支援給付費収益	97,236,948 円	92,406,625 円	4,830,323 円
うち、宝塚市受託事業収益	26,371,887 円	33,147,158 円	△ 6,775,271 円
サービス活動外収益	2,541,435 円	3,254,669 円	△ 713,234 円
特別利益	186,973 円	179,740 円	7,233 円
事業活動費用	231,264,989 円	240,583,093 円	△ 9,318,104 円
サービス活動費用	227,855,026 円	238,625,273 円	△ 10,770,247 円
うち、人件費	90,614,306 円	102,649,844 円	△ 12,035,538 円
うち、事業費	12,245,529 円	12,270,075 円	△ 24,546 円
うち、事務費	15,673,058 円	15,244,719 円	428,339 円
うち、就労支援事業費用	102,174,097 円	104,234,618 円	△ 2,060,521 円
うち、減価償却費	4,543,313 円	4,752,833 円	△ 209,520 円
サービス活動外費用	1,552,038 円	1,778,073 円	△ 226,035 円
特別損失	1,857,925 円	179,747 円	1,678,178 円
差 引	10,518,972 円	6,291,183 円	4,227,789 円

令和3年度の法人全体の経営成績(事業活動損益)は、約1,000万の黒字決算になりました。これは新型コロナウイルス感染拡大による短期入所事業、日中一時支援事業の一時閉所や職員体制の不足などによる受入人数の減少などによる収益減(前年度より短期入所事業で約130万の減収、日中一時支援で約730万の減収)があったにもかかわらず、減収分を上回る経費の削減があったことによりです。

就労継続支援事業については、就労収益ではほぼ前年度並み(前年比約14万の減収、損益ベースでは約190万の増収)になりますが、支援費について基礎報酬の改定による増額と、就労継続支援B型は6月に目標工賃達成指導員配置加算の取得により、前年度から610万の収益増になっています。

Ⅲ 障害福祉サービス事業等の実施

Ⅲ-1 就労継続支援A・B型事業（宝塚育成事業所）

就労継続支援A型事業については、雇用契約に基づいた生産性を求めながら、宝塚育成事業所の牽引力を期待していきます。

令和3年度は利用者12名から始まり、11月に60歳代の利用者が就労継続支援B型に移行し、11名で運営しました(利用率96.5%)。

就労継続支援B型については、地域に根差した生産活動を行いながら、高齢化対応や他施設からの若い年代の利用者の受け入れを行い、社会人、職業人としての自己意思決定などの支援を行っています。

令和3年度は利用者15名から始まり、11月に就労継続支援A型より1名が移行したことから、16名の運営になっています(利用率102.8%)。

令和3年度の基礎報酬の改定によりA型・B型とも支援費の増額に加え、就労継続支援B型については6月に目標工賃達成指導員配置加算の取得を行い、支援費は前年度から大幅に増加しています。

(1) 運営状況及び訓練給付費の状況

区 分		令和3年度	令和2年度	増減
A 型	定員	12 人	12 人	0 人
	契約人数	11 人	12 人	△ 1 人
	年間開設日数	239 日	240 日	△ 1 日
	訓練給付費	21,019,603 円	20,148,570 円	871,033 円
B 型	定員	15 人	15 人	0 人
	契約人数	16 人	15 人	1 人
	年間開設日数	239 日	240 日	△ 1 日
	訓練給付費	29,027,670 円	23,779,809 円	5,247,861 円
訓練等給付費合計		50,047,273 円	43,928,379 円	6,118,894 円

各年度 3月31日現在

(2) 就労支援事業の実施事業

① 生産活動業務

【就労継続支援A型】

- 介護保険適用福祉用具貸与事業(契約件数 516件(3月現在))、福祉用具販売事業
- 宝塚市公園維持管理業務、宝塚市立病院植栽管理業務の受託 (A・B型間での作業分担明確化)
- 福祉用具の消毒作業の受託 (A・B型間での作業分担明確化)

【就労継続支援B型】

- 介護保険適用外福祉用具貸与事業(契約件数 481件(3月現在))、福祉用具販売事業
- 宝塚市公園維持管理業務、宝塚市立病院植栽管理業務の受託 (A・B型間での作業分担明確化)
- 福祉用具の消毒作業の受託 (A・B型間での作業分担明確化)
- 軽作業の受託
- 就労継続支援A型事業からの福祉用具消毒作業の受託

② 就労支援事業収支の状況

区 分		令和3年度	令和2年度	増減
A 型	収 益	86,290,613 円	86,762,138 円	△ 471,525 円
	費 用	85,828,230 円	86,412,156 円	△ 583,926 円
	差 引	462,383 円	349,982 円	112,401 円
B 型	収 益	19,626,161 円	19,295,484 円	330,677 円
	費 用	19,351,797 円	17,822,462 円	1,529,335 円
	差 引	274,364 円	1,473,022 円	△ 1,198,658 円
合 計	収 益	105,916,774 円	106,057,622 円	△ 140,848 円
	費 用	105,180,027 円	104,234,618 円	945,409 円
	差 引	736,747 円	1,823,004 円	△ 1,086,257 円

令和3年度の就労継続支援A型の収支は約46万円の黒字で、就労継続支援B型の収支についても約27万円の黒字になりました。なお、この黒字額については、就労継続支援A型・B型共に工賃変動積立金に、積み立てることにしました。

③ 賃金及び工賃の状況

区 分		令和3年度	令和2年度	増減
A型	人 数	11 人	12 人	△ 1 人
	最賃適用者	5 人	4 人	1 人
	賃金総額	12,933,236 円	13,024,920 円	△ 91,684 円
	平均月額賃金	92,829 円	90,451 円	2,378 円
B型	人 数	16 人	15 人	1 人
	工賃総額	6,929,555 円	6,337,544 円	592,011 円
	平均月額工賃	37,457 円	37,062 円	395 円

就労継続支援A型は最低賃金適用者が一名増加し、平均月額賃金は前年度に比べ、約2,400円増加しました。

就労継続支援B型の平均月額工賃については10月に工賃(基礎給+能力給)の基礎給にあたる部分の増額(日額780円から日額800円)を行い、約400円増加しています。

(3) 職員配置状況

区 分	正規(嘱託)職員	臨時職員	合計
管理者	1(他事業と兼務)		1
サービス管理責任者	1		1
生活支援員	2	2	4
職業指導員	4	2	6
事務員	1	1	2
合 計	9	5	14

令和4年3月31日現在

Ⅲ-2 単独型短期入所事業（ENJOYハウス・安倉ホーム・来夢）

ENJOYハウスの運営が令和3年度で終了することに伴う、短期入所事業の再編への取り組みについて十分な検証と計画性に欠けたことは反省点として、今後の事業運営に生かすことができると考えています。

また、いまだ新型コロナウイルス感染症は終息に至らず、短期入所事業の運営にも影響を及ぼしました。次年度に向けて利用者、職員にとっても環境の変化の中での短期入所事業の運営については、計画相談事業所等の他機関と連携を密にし、利用者主体の事業のあり方を考えていきます。

(1) 短期入所運営状況

【ENJOYハウス(男性対応)】

区分	令和3年度		令和2年度		増減		備考
定員	4	人	4	人	0	人	
年間開設日	169	日	188	日	△ 19	日	
年間利用者(実数)	17	人	19	人	△ 2	人	
年間延べ利用者	490	人	579	人	△ 89	人	
平均利用者数/日	2.9	人/日	3.1	人/日	△ 0.2	人/日	

【ENJOYハウス(女性対応)】

区分	令和3年度		令和2年度		増減		備考
定員	3	人	3	人	0	人	
年間開設日	212	日	188	日	24	日	
年間利用者(実数)	14	人	17	人	△ 3	人	
年間延べ利用者	400	人	345	人	55	人	
平均利用者数/日	1.8	人/日	1.8	人/日	0.0	人/日	

【安倉ホーム(男性対応)】

区分	令和3年度		令和2年度		増減		備考
定員	4	人	4	人	0	人	
年間開設日	214	日	213	日	1	日	
年間利用者(実数)	11	人	16	人	△ 5	人	
年間延べ利用者	388	人	491	人	△ 103	人	
平均利用者数/日	1.8	人/日	2.3	人/日	-0.5	人/日	

【安倉ホーム(女性対応)】

区分	令和3年度		令和2年度		増減		備考
定員	4	人	4	人	0	人	
年間開設日	182	日	193	日	△ 11	日	
年間利用者(実数)	10	人	10	人	0	人	
年間延べ利用者	346	人	394	人	△ 48	人	
平均利用者数/日	1.9	人/日	2.0	人/日	-0.1	人/日	

【来夢(男性対応)】

区分	令和3年度		令和2年度		増減		備考
定員	4	人	4	人	0	人	
年間開設日	214	日	207	日	7	日	
年間利用者(実数)	10	人	10	人	0	人	
年間延べ利用者	546	人	538	人	8	人	
平均利用者数/日	2.6	人/日	2.6	人/日	0.0	人/日	

※定員とは別に緊急時受け入れ枠1人

(2) 介護給付費の状況

区分	令和3年度	令和2年度	増減	備考
ENJOYハウス	19,679,710 円	20,028,021 円	△ 348,311 円	
安倉ホーム	16,146,113 円	18,085,579 円	△ 1,939,466 円	
来夢	11,363,852 円	10,364,646 円	999,206 円	
合計	47,189,675 円	48,478,246 円	△ 1,288,571 円	

(3) 職員配置状況

区分	正規(嘱託)職員	臨時職員	合計
管理者	1		1
生活支援員	5		5
調理員 (安倉ホーム、来夢)		4	4
添乗員 (ENJOYハウス)		3	3
合計	6	7	13

令和4年3月31日現在

(4) 安倉ホームスプリンクラー未設置に係る対応について

短期入所施設のスプリンクラー設置基準は、消防法の運用により、障害支援区分4以上の利用者の利用割合が80%を超える場合を設置要件としています。

安倉ホームについては、設置コストと施設の建築年数などを総合的に考慮し、障害区分4以上の利用者の施設利用割合が80%未満となる様に運用しています。

なお令和3年度の利用割合は、次の通りです。

区分	開設日延べ定員	障害支援区分4以上		障がい支援区分3以下	
		延べ利用者	比率	延べ利用者	比率
安倉ホーム(男性)	848 人	313 人	36.9%	70 人	8.3%
安倉ホーム(女性)	724 人	348 人	48.1%	0 人	0.0%
計	1572 人	661 人	42.0%	70 人	4.5%

Ⅲ-3 日中一時支援事業（つばさ&ミッキー）

令和3年度も新型コロナウイルス感染症の影響を大きく受けた一年でした。特に年度後半には、利用者の陽性確認、支援員の濃厚接触者判定などで一時的な休所措置をとり、感染拡大防止の対応を行いました。その後は感染拡大もやや落ち着き、事業運営も従来の形に戻ってきました。

収益については、前年度宝塚市の報酬算定要綱の見直しによる大幅に増収がありました。が、今年度は休所措置の影響に加え、職員体制の問題などにより、前年度から約730万の減収になっています。

様々な課題の検証を含め、事業運営のあり方を今年度に引き続き検討していきます。

(1) 日中一時支援運営状況

区 分	令和3年度	令和2年度	増減	備考
定員	15 人	15 人	0 人	
年間開設日	218 日	238 日	△ 20 日	
年間利用者(実数)	66 人	68 人	△ 2 人	
学齢児童	33 人	34 人	△ 1 人	
成人(18歳以上)	33 人	34 人	△ 1 人	
年間延べ利用者	623 人	588 人	35 人	
学齢児童	284 人	266 人	18 人	
成人(18歳以上)	339 人	322 人	17 人	
年間延べ利用時間	12,873 時間	15,946 時間	△ 3,073 時間	
学齢児童	6,655 時間	8,036 時間	△ 1,381 時間	
成人(18歳以上)	6,218 時間	7,910 時間	△ 1,692 時間	
平均利用者数/日	12.5 人	13.8 人	△ 1.3 人	

※ここでいう成人とは18歳以上をいい、通常、自己負担金が0円となる利用者です

(2) 受託事業収益の状況

区 分	令和3年度	令和2年度	増減	備考
宝塚市受託事業収益	26,371,887 円	33,147,158 円	△ 6,775,271 円	
利用者負担金収益	2,786,175 円	3,296,231 円	△ 510,056 円	
合 計	29,158,062 円	36,443,389 円	△ 7,285,327 円	

(3) 職員配置状況

区 分	正規(嘱託)職員	臨時職員	合計
管理者	1(他事業と兼務)		1
生活支援員	2	10	12
合 計	3	10	13

令和4年3月31日現在

Ⅲ-4 コロナ禍における障害福祉サービスの実施状況

新型コロナウイルス感染症に係る措置実施期間（兵庫県に關係するもの）

○令和3年4月5日から4月24日	まん延防止等重点措置（1）
○令和3年4月25日から6月20日	緊急事態措置（1）
○令和3年6月21日から7月11日	まん延防止等重点措置（2）
○令和3年8月2日から8月19日	まん延防止等重点措置（3）
○令和3年8月20日から9月30日	緊急事態措置（2）
○令和4年1月27日から3月21日	まん延防止等重点措置（4）

前年同様、令和3年度も新型コロナウイルスの感染拡大が続いた年度でした。

① 就労継続支援A型・B型事業【宝塚育成事業所】

一回目の緊急事態措置時には、福祉用具の配送依頼に応える事と利用者の対応を考慮し、通所組と自宅待機組の2グループに分け、サービス提供の継続を行いました。

ワクチン接種については、宝塚市及び近隣医療機関と連携を行い、接種希望者に対して他施設よりも約2か月早い7月9日、7月30日に医療機関にて接種を行いました。

重症率は下がるものの、感染力が高いオミクロン株が拡大した令和4年2月1日～2月5日の期間に利用者4名、職員2名が陽性になり施設内での集団感染が発生しました。

2月6日からは自宅待機可能な利用者に待機要請を出し感染拡大を防止、簡易検査キットの活用などを行い2月15日には、ほぼ終息しています。

②短期入所事業（ENJOYハウス、安倉ホーム、来夢）

令和3年度も新型コロナ感染症の終息がみられず、短期入所事業の運営にも大きな影響を受けた年となりました。今年度は前年度の運営についての反省点も踏まえ、休所という形を避け、できる限りの利用者の受入れを続けました。しかし、今年初めの緊急事態宣言発令時には、利用者や支援員のコロナ感染のため、事業所の休所を余儀なくされました。

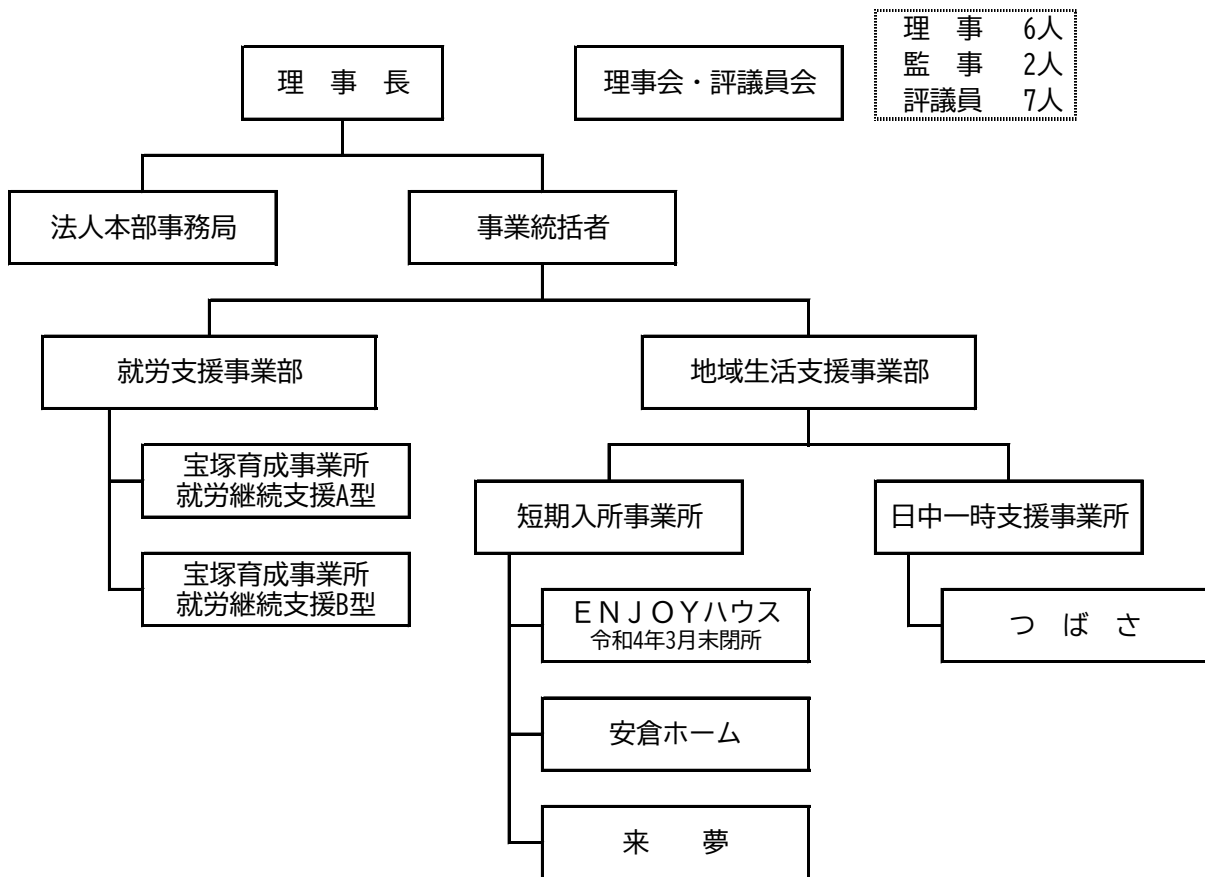
年度末には、ほぼ通常の運営状態に戻っています。

③日中一時支援事業（つばさ、ミッキー）

日中一時支援事業所におきましても、令和3年8月のつばさ、ミッキー運営時に支援員および利用者のコロナ感染症（濃厚接触を含む）が確認され、感染拡大の防止措置を実施しました。約2週間の休所措置をとり、以降の感染拡大は見られずほぼ通常の事業運営を行っています。

IV 法人の状況及び運営等

IV-1 法人の組織



IV-2 職員の状況

区分	令和3年4月1日	雇用(4月1日を含)	退職(3月31日を含)	令和4年3月31日
正規職員	15 人	人	1 人	14 人
男性	7 人	人	人	7 人
女性	8 人	人	1 人	7 人
嘱託職員	5 人	人	人	5 人
男性	3 人	人	人	3 人
女性	2 人	人	人	2 人
臨時職員	12 人	2 人	4 人	10 人
男性	2 人	人	人	2 人
女性	10 人	2 人	4 人	8 人
合計	32 人	2 人	5 人	29 人
男性	12 人	人	人	12 人
女性	20 人	2 人	5 人	17 人

※臨時職員は雇用契約を締結している職員に限る

IV-3 役員等の選任状況について

①役員(理事及び監事)

選任日	令和3(2021)年6月28日
任期	(自) 令和3(2021)年6月28日 (至) 令和5(2023)年6月開催の定時評議員会終結時まで
理事 理事 理事 理事 理事 理事 監事 監事	浅山 みゆき 植戸 貴子 小原 正義 小原 冷子 松下 祐介 山下 和美 高橋 千明 山本 信也 (敬称略、五十音別)

②評議員

選任日	令和2(2020)年6月23日
任期	(自) 令和2(2020)年6月23日 (至) 令和6(2022)年6月開催の定時評議員会終結時まで
評議員 評議員 評議員 評議員 評議員 評議員 評議員	今北 さゆり 久保 明子 辻井 善弘 西田 弓子 紅山 修 山田 精一 米田 直人 (敬称略、五十音別)

IV-4 理事会及び評議員会の開催状況

会議の名称	第1回理事会
開催日時	令和3(2021)年5月28日
開催場所	宝塚市総合福祉センター内 障害者福祉センター
出席者数	理事6名中6名出席 監事2名出席
議題	第1号議案 令和2年度事業報告及び決算に係る計算書類等の承認について 第2号議案 次期役員候補者の選出について 第3号議案 評議員会の招集について

会議の名称	評議員会(定時評議員会)
開催日時	令和3(2021)年6月28日
開催場所	宝塚市総合福祉センター内 障害者福祉センター
出席者数	評議員7名中7名出席 監事2名出席
議 題	第1号議案 令和2年度事業報告及び決算の承認について 第2号議案 新役員の選任について

会議の名称	第2回理事会
開催日時	令和3(2021)年6月28日
開催場所	宝塚市総合福祉センター内 障害者福祉センター
出席者数	理事6名中5名出席(植戸理事欠席) 監事2名出席
議 題	第1号議案 理事長の選定について

会議の名称	第3回理事会(書面報告)
送達日	令和3(2021)年8月30日
議 題	第1号報告 令和3年度第1四半期の業務執行状況について

会議の名称	第4回理事会
開催日時	令和3(2021)年10月26日
開催場所	宝塚市総合福祉センター内 障害者福祉センター
出席者数	理事6名中5名出席(植戸理事欠席) 監事2名出席
議 題	第1号議案 短期入所事業ENJOYハウス閉所について 第1号報告 日中一時支援事業に係る対応について 第2号報告 令和3年度法人研修について

会議の名称	第5回理事会
開催日時	令和3(2021)年12月10日
開催場所	宝塚市総合福祉センター内 障害者福祉センター
出席者数	理事6名中5名出席(植戸理事欠席) 監事1名出席(高橋監事欠席)
議 題	第1号報告 令和3年度第2四半期の業務執行状況について

会議の名称	第6回理事会
開催日時	令和4(2022)年3月22日
開催場所	宝塚市総合福祉センター内 障害者福祉センター
出席者数	理事6名中6名出席 監事2名出席
議 題	第1号報告 令和3年度第3四半期の業務執行状況について 第1号議案 令和4年度事業計画及び資金収支予算(当初予算)について

IV-5 職員研修及びリスク管理

①職員研修

令和3年度についても令和2年度に続いてコロナ禍による対面研修の実施は困難でした。代わりに増加してきたオンライン研修や録画型によるオンデマンド研修などを効果的に行うことが出来ました。また、令和4年度に義務化される障害者虐待防止研修の実施を法人全体研修として行いました。

【主な研修事業】

令和3年6月	宝塚市社会福祉協議会 地域づくり研修 (宝塚育成事業所 職員)
令和3年8月～10月	兵庫県手をつなぐ育成会 地域生活援助者養成講座 全4回 (短期入所 職員)
令和3年9月	兵庫県 サービス管理責任者研修 (宝塚育成事業所 職員)
令和3年11月	宝塚市社会福祉協議会 地域福祉研修 (宝塚育成事業所 職員)
令和3年11月	宝塚いくせい会 法人全体研修 虐待防止研修 (宝塚いくせい会 職員)
令和3年12月	日本知的障害福祉協会 全国生産活動・就労支援部会研修会 (宝塚育成事業所 職員)
令和3年12月	日本財団 就労支援フォーラム2021 (宝塚育成事業所 職員)

②リスク管理

令和3年度も前年度に引き続き、新型コロナウイルス感染拡大という緊張感の中でその対応などに追われる状況となりました。

宝塚育成事業所で初めて集団感染が発生する中で事業継続を図るなど、法人として2年間の経験をもとに令和6年度に義務化される業務継続 (BCP) 計画に向けて、防災面とあわせた事業継続の取りまとめを行っていきます。

また、日常のヒヤリハットの発生についても、より大きな事故につながることを防いでいくために情報の共有や支援の検証などの職員の意識づけにつなげるようにしています。

IV-6 その他の取り組み

防災及び福利厚生取り組み

時 期	項 目
5月	・宝塚育成事業所、ENJOYハウス、安倉ホーム、来夢、つばさ 害虫駆除
6月	・ENJOYハウス 消防設備点検
7月	・宝塚育成事業所利用者 新型コロナワクチン接種(8日・30日) ・安倉ホーム、来夢、つばさ 消防設備点検
9月	・宝塚育成事業所 消防設備点検 ・宝塚育成事業所、ENJOYハウス、安倉ホーム、来夢、つばさ 害虫駆除
10月	・法人職員及び宝塚育成事業所利用者 健康診断
11月	・宝塚育成事業所利用者 インフルエンザ予防接種 ・宝塚育成事業所利用者 日帰り旅行(ユニバーサル・スタジオ・ジャパン) ・宝塚育成事業所 消防避難訓練
12月	・宝塚育成事業所 消防設備点検
3月	・安倉ホーム、来夢、つばさ 消防設備点検